

国際ロータリー第2660地区
ガバナー

大谷 透



4月はロータリー雑誌月間です。

ロータリーは創立から6年、ロータリーがアメリカからカナダへと広がったのを期に、1911年1月25日『The National Rotarian』（『The Rotarian』の前身）が創刊されました。その日を記念して1月25日を含む1週間を雑誌週間と決められていました。その創刊号に掲載されたポール・ハリスの6000語に及ぶ随筆「合理的ロータリアニズム」の全文が「ロータリーの友」2010年1月号に載っています。

目的を持った組織体の数が多くなり、地域も広くなっていくと、情報、知恵、思想などを共有するために媒体が必要となります。日本でも次第にロータリークラブの数が多くなり、1952-53年度から東と西の2地区に分割される事になりました。これを機に『ロータリーの友』が1953年1月に創刊されました。

国際ロータリーの正会員はRIの機関誌『The Rotarian』か、RI理事会が承認する地域雑誌（日本の場合は『ロータリーの友』）の購読を継続することが条件となっています。『ロータリーの友』は1980年7月号から公式地域雑誌としてRI理事会で承認されましたので、日本のロータリアンは『The Rotarian』を購読しなくてもよいことになりました。

地域雑誌として認定されるためには、クリアしなければならない10の条件が細かく定められています。その中の重要な条件をいくつか挙げま

すと、規定の方法で選ばれた雑誌委員会の監督を受けること、編集方針はRIの方針と合致し、記載記事の内容の50%以上がロータリーに関するものでなければならないこと、内容の質に於いてもロータリーの品位と知徳に相応しいものでなければならないこと、少なくとも2地区以上の広域を対象とし、年4回以上発行すること等です。雑誌委員会のメンバーは各地区のガバナーから委嘱を受けたロータリーの友委員で構成されています。そして、日本の『ロータリーの友』が編集担当者や委員会の方々の絶えざる努力により『The Rotarian』や他の地域雑誌に比べて優れた評価を得ていることは、我々日本のロータリアンの誇りであります。

長らく1月に持たれていた雑誌週間は1978-79年度から4月に移され、1983-84年度からは特別週間→特別月間となり、4月が雑誌月間と定められ、現在に至っています。4月という月はロータリーにとって次年度の活動の準備のための忙しい月ですが、この雑誌月間に当って、改めてじっくりと『ロータリーの友』の編集に貢献した方々の努力に敬意と感謝をもって、内容に目を通してください。

『ロータリーの友』を興味をもって読むようになる一番良い方法は、投稿することです。俳句、卓話、随筆、奉仕活動の報告など、各クラブの雑誌委員の方は読誌のすすめだけでなく、投稿のすすめを行って下さい。